

優良事業者表彰（事業者のくまエコ温暖化対策賞）

第3回受賞者（平成31年度）（五十音順）

- ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社 熊本工場
- 中央電子工業株式会社 熊本工場
- ミライアル株式会社 熊本事業所
- ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 川尻工場



※写真（役職は平成31年度当時） ※中央電子工業株式会社熊本工場様は都合により欠席

（1列目）

- （左から1人目）ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 川尻工場 池尻課長 様
- （左から2人目）小野泰輔 熊本県副知事
- （右から2人目）ミライアル株式会社熊本事業所 田中事業所長 様
- （右から1人目）ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社 熊本工場 大田尾副部長 様

（2列目）

- （左）ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 迫口様
- （中央）ミライアル株式会社熊本事業所 榎田部長 様
- （右）ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社熊本工場 御手洗次長 様

【受賞者の功績概要】

ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社 熊本工場

（1）概要

エネルギー消費効率改善策を継続実施した結果、CO₂ 原単位（CO₂ 排出量/生産重量）が前年度に比べ減少した。

（2）独創的な取り組み

設備別・生産工程別のエネルギー使用量及び設備稼働状況のデータからエネルギー消費効率に影響を与える要因を抽出し、改善策を検討・実施した。具体的には生産ラインの組み合わせによる蒸気原単位（蒸気使用量/生産重量）の変動を分析することで、蒸気漏れ設備を特定し、設備を改修した。

(3) 汎用性のある取組み

エネルギー使用状況・コプレッサエア漏れ箇所の見える化やコプレッサへのインバータ導入による負荷に応じた最適運転を行っている。

(4) 組織性のある取組

エネルギー使用状況の「見える化」による従業員の意識啓発、構内フォークリフトのスピード制限装置設置による社用車のエコ運転を促す取組を実施している。

中央電子工業株式会社 熊本工場

(1) 概要

積極的な省エネを進めてきた結果、生産設備の稼働率が向上し、生産量増加に伴うエネルギー使用量増加にもかかわらず、原単位 (CO2 排出量/生産量)は前年度に比べ減少した。

(2) 独創的な取組み

工場内の設備集約による空調や照明の稼働箇所の削減、クリーンルームの間引き運転、工場の稼働日の削減によりエネルギー使用量を削減できた。

(3) 汎用性のある取組み

熱源設備の運転状況の「見える化」による過剰なエネルギー使用の抑制、主要設備 (ポンプ及びファン等) のインバータ化や蒸気配管及びバルブ等の保温を行っている。

(4) 組織性のある取組

ISO14001 に基づく省エネルギー委員会を組織し、部門ごとの目標達成に向けて事業所全体で取り組んでいる。

ミライアル株式会社 熊本事業所

(1) 概要

生産量増加に伴いエネルギー使用量が増加しているが、不良品を作らないこと、生産設備のサイクルタイムアップが省エネにつながるとの考えのもと、生産設備の稼働率向上により原単位 (CO2 排出量/生産量) は前年度に比べ減少した。

(2) 独創的な取組み

省エネルギー推進委員会と製造部門が一体となってコスト削減及び省エネの両面から対策を検討・実施している。

(3) 汎用性のある取組み

主要設備 (冷却水用ポンプ及び空調用ファン等) のインバータ化、適正照度を確保した照明の間引き、工場内の室内温度基準 (夏季 30°C、冬季 20°C) に基づく空調管理、デマンド監視システム稼働による省エネ運転を行っている。

(4) 組織性のある取組

省エネルギー推進委員会を置き、ISO14001 に基づく環境管理委員会の目標に上げて取り組んでいる。

(1) 概要

生産効率を上げることが省エネにつながるとの考えのもと、生産設備の稼働率向上や製品の不良率低減に取り組み、原単位排出量（CO2 排出量/生産量）の削減目標値を達成している。

(2) 独創的な取組み

社内イントラネットへの工場内電気使用料金の表示による省エネ意識の啓発、詳細な省エネ実施計画に基づく毎月の実績確認と PDCA 運用、各設備の原単位管理（例：コンプレッサ 1 立方メートルあたりの電気使用量）を行っている。

(3) 汎用性のある取組み

主要設備（コンプレッサや冷却水ポンプ等）のインバータ化、熱源設備及びコンプレッサ等の計画的な省エネタイプへの更新、配管・バルブ等の保温、事務室照明プルスイッチ取り付けによるこまめな消灯を行っている。

(4) 組織性のある取組

定期的に環境管理委員会等を開催し、社内他事業所と情報を共有化している。